

知的財産法Ⅰ（特許法）

科目ナンバリング NFL-201
選択必修 2単位

徳力 徹也

1. 授業の概要(ねらい)

知的財産法(主として特許法、実用新案法及び意匠法)の概要について、具体的事例を通じて説明します。

2. 授業の到達目標

①本講義は、特許法等について、「法律的な知識に基づき、社会で起きている法現象について、その問題点を的確に把握し、問題解決のための提言を行うことができる」ようになることを目標とします。

②各受講生において、特許法等の基本的考え方＝「どのような利益が何故保護されるのか」「どのような行為がどのような場合に侵害行為になるか(その理由)」などを概ね理解し、実際の事例の検討事項・検討の方向性を見いだせるようになることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

基本的に試験結果(80%)、講義参加状況(レポート提出・発表当)(20%)に基づき評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

なし

5. 準備学修の内容

各講義のレジメを事前配布・LMS掲載するので、当該レジメを事前に読み、問題を検討してください。

レジメに記載された課題について、受講者がレポート作成・提出し、指名された者が発表を行うことがあります。

なお、経済活動に係る新聞記事等を読むように努めてください(知的財産に関する記事等がたくさんありますから、是非注目してください。)

6. その他履修上の注意事項

法律の規定を知るのみならず、「何故、そのような取扱いになっているか(趣旨・目的)」などの問題意識を有して受講してください。

なお、講義中の私語を厳禁とします。

7. 授業内容

- 【第1回】 概要(今後の講義内容・進め方等)
知的財産法の概要(全般)
ーなぜ、知的財産(情報)は、保護される必要があるのかー
- 【第2回】 特許法①(概要／発明とは／どのような発明に特許権が与えられるか、など)
- 【第3回】 特許法②(特許権はどのような権利か?特許権侵害はどのような行為か:文言侵害、直接侵害)
- 【第4回】 特許法③(特許権侵害はどのような行為か:均等侵害、間接侵害)
- 【第5回】 特許法④(特許権侵害主張に対する反論:無効・先使用権・権利消尽等)
- 【第6回】 特許法⑤(特許法事例の検討:特許権侵害に係る主張と反論の検討 i)
- 【第7回】 特許法⑥(特許法事例の検討:特許権侵害に係る主張と反論の検討 ii)
- 【第8回】 特許法⑦(最近の話題:アップル／サムスン事件等+設例による簡単な復習)
実用新案法
- 【第9回】 意匠法①(概要／意匠とは／どのような意匠に意匠権が与えられるか、など)
- 【第10回】 意匠法②(意匠登録要件／意匠権侵害の概要)
- 【第11回】 意匠法③(意匠権侵害はどのような行為か／具体的な意匠権侵害事例の検討 i)
- 【第12回】 意匠法④(具体的な意匠権侵害事例の検討 ii)
- 【第13回】 意匠法⑤(意匠権侵害主張に対する反論)
- 【第14回】 意匠法⑥(最近の話題+設例による簡単な復習)
- 【第15回】 まとめと試験